

平成 30 年 6 月 8 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 g u m i
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 國 光 宏 尚
 (コード番号：3903 東証市場第一部)
 問 合 せ 先 取 締 役 本 吉 誠
 (TEL. 03-5358-5322)

平成 30 年 4 月期連結業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

平成 30 年 6 月 8 日に公表した平成 30 年 4 月期（平成 29 年 5 月 1 日～平成 30 年 4 月 30 日）の連結業績につきまして、平成 30 年 3 月 9 日に公表した平成 30 年 4 月期の連結業績予想値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 4 月期の連結業績予想値と実績値との差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当期純利益
業績予想値 (A)	百万円 27,253	百万円 652	百万円 535	百万円 -	円 銭 -
実 績 値 (B)	27,112	994	962	552	18.91
増 減 額 (B-A)	△141	341	426	-	-
増 減 率 (%)	△0.5	52.3	79.7	-	-

2. 差異の理由

差異の理由の詳細については、以下に記載のとおりです。

売上高は、季節要因に伴う既存タイトルの売上減少及び当連結会計年度において配信を開始した新規タイトルの売上貢献が限定的となったこと等に伴い、27,112 百万円となりました。

営業利益は、支払手数料率の低いタイトルが増収したこと及び広告宣伝費等のコスト適正化に努めた結果、994 百万円となりました。

経常利益は、主に営業利益が 994 百万円になったことにより 962 百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、税効果の見積りが困難であったことから予想値を公表しておりませんでしたが、経常利益が 962 百万円となったことに加え、特別損益、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額並びに非支配株主に帰属する当期純損益を考慮した結果、552 百万円となりました。

3. 今後の取り組みについて

当社グループはグローバルでの競争に打ち勝つため、ネイティブアプリサービス、VR/AR サービス、モバイル動画領域及び仮想通過・ブロックチェーン領域への対応に注力してまいります。

ネイティブアプリサービスに関しましては、国内におけるヒットタイトルの量産に加え、モバイルオ



オンラインゲームのグローバルな配信体制の構築により、主に当社グループが開発する国内・海外の良質なゲームコンテンツを世界各国に配信していくことが重要な課題であると考えております。今後も開発・ローカライズ・配信拠点の拡充、プラットフォームやマーケティングパートナーとの連携、世界各国のゲーム開発会社との提携及び有名 IP の活用等を積極的に推し進めていく方針であります。

VR/AR サービスに関しましては、将来、市場の急拡大が見込まれる VR/AR 市場において早期に優位なポジションを築くことが重要な課題であると考えております。当社グループは、市場の状況に合わせて投資を行っていく方針であり、市場の黎明期においては国内・海外にて主にファンド出資を通じた VR/AR 関連企業の成長支援を実施し、また成長期においては VR/AR コンテンツの開発に主体的に取り組み、VR/AR サービスの収益化を目指してまいります。

モバイル動画領域については、当社及び投資子会社である株式会社 gumi ventures を通じ、出資を通じた有力企業との戦略的連携を図ることで、将来における収益基盤を構築してまいります。

加えて、仮想通貨・ブロックチェーン領域については、平成 30 年 2 月に組成した gumi Cryptos 匿名組合を通じ、出資を通じた有力企業との戦略的連携及びコンテンツの自社開発等により、将来における収益基盤を構築してまいります。

以 上